



# 黄川田衆議員を迎えて

1月3日(月) ジルマ新大統領の就任式に出席した、元総理麻生太郎衆議院議員他3名が日系団体との懇談や、イピラブエラの慰霊碑参拝、移民資料館を視察され、夕刻から各県人会に迎えられ懇談会が開かれた。

岩手県人会は、『黄川田(きかわだ)徹』議員(陸前高田出身)を迎えて、午後6時から会員40名余で歓迎懇談会が開かれた。

始めに、千田会長から歓迎の挨拶、議員先生は「おばんでございます」と、会員の中に入り大きな声で皆さんに語りかけた。また皆さんの活躍ぶりを肌で感じエネルギーを持ち帰りたいと語った。県人会からビデオやお土産を、先生からも皆さんへとお土産が贈られた。

菊地名誉会長の音頭で宴が始まった。先生は『ゆび笛』で「1月1日」の歌をご披露し、皆さんもつられて合唱した。



議員と会員の小原アヤさん  
母と息子のよう

遠くポツカツ市(サンパウロから235Km)から参加した、小原アヤさん(90才、遠野市)に、先生は私の母ですと労いの言葉をかけた。

最後に「北国の春」を全員で合唱。先生は「今度はリオで開催されるオリンピック選手で来ます」と意気込んだ。そして「黄川田先生の歓迎幕」を、

奥さんにお土産として持ち帰えられた。

本当に「気さくな」先生で参加した皆さん大変喜んでいました。



写真上 黄川田先生を迎えて乾杯



雨の中、先没者慰霊碑を参拝。手前から黄川田、河村、麻生そして、中井議員、次に大部総領事、説明する木原和歌山県人会長

## リオ州水害義援金協力者へお礼

岩手県人会では、1月中旬からリオ州を襲った未曾有の集中豪雨で被害にあわれた方々に、気持ちだけでもと16日の総会・新年会で義援金の協力を要請。ビンゴの売上金も加え、R\$ 716をリオ州日伯文化体育連盟(鹿田明義理事長)口座へ19日送金した。

他県人からも善意の協力があり鹿田会長に相談。1月一杯募金をコロニアの皆さんへ呼びかけた。結果多くの協力が寄せられ、総計R\$3,619.00が集まった。早速2月1日リオ連盟口座へ振込ませて頂いた。扱い県人会として協力頂いた皆様方へ、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。尚義援金はノーバ・フリブルゴ日系協会に送りますと、2日鹿田会長から連絡がありました。



リオ水害被災地  
ノーバ・フリブルゴ

## 岩手出身者の皆様 領事館に死亡届けを!!

最近、岩手出身者で亡くなられた方々の親戚や戸籍役所から、県人会に消息依頼があります。  
当地の総領事館に死亡届けを提出しないと、郷里の役所では書類上生存者として記載されております、財産処分や区画整理など事務処理が出来ません。  
皆さんご家族の一世に、亡くなられた方がおられましたら県人会までご一報願います。TEL (3207-2383)

# 第52回定期総会・新年会・臨時総会

1月16日(日)ブラジル県人会第52回定期総会が21名の出席者で始まった。初めに先没者へ黙祷、千田会長は1年間の協力や支援に感謝し、リオ州水害義援金の協力箱を設置しお願いした。議長に多田マウロ副会長を選出。所定の役職を選出し議題に移行。

2010年事業では、年3回の交流誕生会やブロック行事、独自の食「わんこそば大会」、日本祭り、親睦ピクニック・旅行、会報発行、母県関係者や海外県人会との交流などを報告。

会計報告は、収入約10万レアル、支出9万レアル余で約9千レアルの余剰金は新年度に繰り越された。

2011年度事業計画は例年通りに、8月パ国イグアス移住地入植50周年参加を予定。予算収支案10万レアルを審議し承認された。

前期『役員改選』は、2009年千田会長は退任を表明していたが再選。今期も6期12年を機会に退任を表明した。

昨年10月からお願いしていた、シャッパ(連名候補)や、会長候補者が無かった為、新会長や役員が決まらず、臨時総会(2月20日開催と後日決めた)を開き選出する事になった。「新年会」が始まる頃は70名が参集し、菊地名誉会長の乾杯の音頭(写真)、会員持寄り料理で祝宴が始まり久しぶりの再会で懇談した。

ビンゴを行い売上金を義援金の足しに加える事を決め、当日の協力金R\$666.00が集まった。



※ リオ州水害義援金関連記事は1ページに掲載

## 『臨時総会』

2月20日(日)午前10時から臨時総会が開催された。先の定期総会でシャッパ(連名候補)や会長候補者が無く臨時総会で決めることにしていた。

総会后1月29日(土)臨時役員会を開催し、役員皆さんに会長候補を改めてお願いしたが、一世は年だから、或いは今の事業を推進しているからとても無理だ。若い役員は勤め人で時間的余裕が無い事や、一家の生活がのしかかっており、また子供達の上級学校への進学問題を抱えている事でとても、会長としての時間が取れない事情などがありました。

結局は定款により、候補者が居ない場合、前執行部が再選されるより解決方法が無いのでは・・・と言う事で、臨時総会を待つことにした。

その間も皆さんに働きかけるが上記理由で20日当日を迎えた。

総会の式次第が進み、千田会長は2009年総会でも退任を表し、1月16日の総会でもマンネリ化を防ぐため新しい指導者の下、活気ある県人会づくりを願って辞意を表明。議長には多田マウロ副会長が就任。書記や記録署名者、出席者人員確認(19名)後、議題の『役員改選』に入った。

千田会長は日本語、多田議長もポルトガル語で何故臨時総会を開く結果となったかを説明。出席者に会長候補を求めたが決まらず、定款により、千田会長は責任上、現執行部に欠員を補充し継続することで決着した。

休憩時間において、役員選出について意見交換した。定款修正案や県人会のあり方など多くの意見があり有意義な会合であった。

## 皆んなで考えよう県人会

先の定期総会で新会長誕生を願っておりましたが、候補者不在で臨時総会まで繰越しました。結果、定款に従って前理事会が引継ぐ結果となり、今期も継続することになりました。計7期14年の責任となりました。

因みに歴代会長(任期2年)は(初代江刺家勝10年、2代目阿部尚7年、3代目栗石正雄1年、4代目吉田栄3年、5代目村松吉次郎10年、6代目菊地義治8年)でした。7代目は7期14年も責任を担うには長すぎます。

12年間を振り返れば、様々な活動が出来ました。これも一重に会

員皆様や母県等の関係者のお陰と心から御礼申し上げます。

今後、会長として最後の2年ですが、誠心誠意尽くして参りたいと思っておりますので、ご指導頂きたくお願い申し上げます。

このような事態が他県人会でも生じていることは、ご高承の事でありませう。そこで今後早急に定款を改正し最大任期を決めるか、その打開策を講じなければならないと思います。

是非会員皆さんで真剣に考えて頂き、県人会のあり方を根本的に若い方々と共に考え、検討しなければならない時期であります。

一方明るい兆し「婦人部復活」や「留研生OB会の集い」の動きがあることをお伝えしたいと思います。

20011年2月 会長 千田 曠暁

**Dreams Come True**  
 ニューヨーク・大連・サンパウロetc...世界10カ国  
 二戸の酒米「ざんおとめ」で造られる  
 二戸の地酒 南部美人は世界へはばたく。

**南部美人**  
 株式会社南部美人  
 岩手県二戸市種岡字上町13  
 TEL.0195-23-3133  
 FAX.0195-23-4713  
 E-mail:sake@nanbubijin.co.jp  
 ホームページ毎日更新  
<http://www.nanbubijin.co.jp>  
 ●お酒は20歳になってから

## 南部美人を飲むサンパウロのお店

J UN SAKAMOTO	TEL 3088-6019	SHINTORI	新 鳥	TEL 3283-2455	らーめん和	TEL 3145-1833
A-1	TEL 3145-1833	KINOSHITA	木 下	TEL 3849-6940	阿 咩	TEL 3145-1833
BUNDDHA BAR BRASIL	TEL 3044-6181	SHAYA		TEL 3079-5020	藍 染	TEL 5080-3300
					ら ん 月	TEL 3085-6915

- 2010年12月7日 NYの西村氏からデルタ航空試乗記事送付あり
- 8 東京在、花巻出身で柔術研修に來た佐藤賢紀さんと徳弘牧師さん宅で出会う。
  - 10 総領事公邸で開かれた天皇誕生日会に千田会長出席  
岩手関係者及び各県人会、会員に会報カラー版を電送
  - 11 月例役員会
  - ☆ 東北ブロック青年部主催の忘年会が青森県人会で行われた。
  - 13 亀が沢アメリカさんから、盛岡の小川さん元気でいると受信。
  - 14 総領事館より2011年元旦にジルマ大統領就任式に元首相麻生衆議員他、岩手選出の黄川田衆議員も出席との知らせあり、
  - 16 邦字紙に岩泉町出身「熊谷章正兵衛さん」家族の消息依頼
  - 18 サロン 賃貸、忘年会の準備
  - 19 忘年会と45回交流誕生会あり出席者約80名で盛会であった。ビンゴありで盛会だった。
  - 22 岩泉町出身熊谷正兵衛さん遺族の情報が、新聞の尋ね人で次々情報が寄せられ唯一の生存者との連絡が取れ、その情報を県庁や依頼者に知らせる
  - 23 ピラポ岩手県人会から「県人会50周年記念誌」の送付あり。

- 2011年1月3日 ジルバ新大統領就任式に参列された麻生太郎元総理等、4議員イピラブエラ慰霊碑参拝のため千田会長出迎え
- ※ 午後6時より「黄川田徹先生」との楽しい歓迎懇談会あり
  - 6 海上自衛隊員で来伯した、佐々木昌文氏から家紋2冊の寄贈
  - 11 会計年度最後の監査役会
  - 16 第52回岩手県人会定期総会新年会を開催。リオ水害に対し義援金を募った。役員改選で候補者居なく会長決まらず。
  - 17 山田町松本トミさんから真崎氏と山澤氏の賛助会員申込書受領
  - 19 リオ日伯連盟へ県人会預かり義援金を口座へ716レアルを振込
  - 20 三重県人会で行われた県連代表者会に会長出席
  - ※ 義援金の申し込みがあり、今月一杯「県人会」で募ることにする
  - 27 県連本部購入の臨時総会に会長出席。賛成多数(30対10)で可決
  - 28 国際課へ2010年度収支報告書を発送
  - ※ 菊地前会長から水沢の菅原達郎氏昨年11月8日逝去と報
  - 29 臨時役員会開催。次期会長選出決まらず
  - 31 盛岡日本青年会議所「村田和士(かずお)」専務取締役が調査のため来館

**会費納入者名** (敬称略・年額R \$ 75.00)

2010年12月 菊地 義穂、山口しのぶセシリア、長野長勇、高橋凡児、菅原貞一郎、切田政美、岡田しげみテレーザ、清水リーナルイザ、崎田のぶゆきアフォンソ、国成さだこ、加納ナカ(2011年度)、亀ヶ沢梅吉(2011年度)、河野ヤエ、中村健三、大森みどり(新・埼玉2011)、山田幸孝(賛)、阿部宏樹(賛・新・東京)

2011年1月 中村エレナ洋子、佐藤武、1379、山道慶大、小崎敬子(賛)、寒河江良廣(賛)、和田司(賛)、文陳財(賛)、千田曠曉、千田まさ、高橋よしこ、昆野ワシントン、昆野としこ、藤村光夫、菊地義治、菊池達郎、浅見マリア、野村みつこ、塚田よし、田鎖満、及川秀義、小畑ともこ、虎岩あきこ、石川百合子ジュリア、千田輝海、菅原英一、菊池透、高山フジ、佐藤ナミ、野村ナミ、名原孝造、手島おさむジョージ、手島良子、阿部正司、阿部貴司アイルス、千葉直義、佐々木憲輔、佐々木憲次、佐々木寛一、武田春夫(賛)、国成精一ジュベルソン、

2月 前川鮎之助、佐々木進ジョゼ、伊藤春野、柗沢千秋、上村敬子、渡辺ミチ(賛)、関めいこ、元粕えいじ、平野マリア、平野ジョゼカルロス、平野トミオ、野崎寿美子、岩崎雄亮、岩崎ヒロミ、橋本敏郎、(賛)武田春男(賛)、石井紅夫(賛)、

※ 3月以降納入者は次号に掲載します。

**寄付・寄贈者名** (敬称略)

12月 小川澄子(盛岡)5万円、原口紀美子 R \$ 50.00、昆野としこ(香典返し) R \$ 200.00、平野マリア(香典返し) R \$ 100.00、2011年1月 内海博 R \$ 50.00、高橋よしこ R \$ 100.00。

**図書寄贈者名** (敬称略)

2010年12月 石崎矩之 2冊、阿部宏樹 62冊、(2010年1年間の図書寄贈者数2,326名、貸出冊数10,284冊)

2011年1月 無名 3冊、佐々木昌文(広島)家紋集2冊、森谷昭造 3冊、無名 9冊、横山和子 2冊、菊池達郎 4冊、鈴木 359冊、

2月 無名 11冊、石崎矩之 3冊、稗貫義大 2冊、三浦 122冊、佐藤ひろこ 113冊、岩脇恵理子 25冊、

**図書利用者及び貸出冊数**

12月 173名、709冊、11年1月 180名、839冊  
2011年2月末現在のふるさと蔵書数 17,570冊

**お便り** 花巻出身苦米地静子様のお手紙より抜粋

前略、ご免下さい。千田様からの大きな封書を頂き、訝り乍ら急ぎ開けたところ。「移住ミュージアムへのご案内」という美しい御本。お手紙によれば過日の兵庫県人会50周年の記念品とか、実に得難い尊い本です。

先ず、その表紙、緩やかな白雲の浮く青空の下に、輝くばかりの姿で忽然と建つ、78年ぶりの『我が移民収容所』を見ただけで、不覚にも熱いものが溢れました。

そして内容もたくさんの写真と、その詳しい説明によって、82年間の帰し方が手に取るように解り、新たな感動が胸一杯に広がりました。新移民時代の農具の写真を見て又しても、懐旧の涙が流れ落ちました。これこそ、私のこの世に於ける唯一の宝物になりそうです。重ねて心からお礼申し上げます。

その後頂戴した『移民ミュージアムへのご案内』誌のページを毎日開き、過ぎし日の渡伯当時の事や、新移民時代の哀歓を反芻しております。これが私のこの上ない喜びであり慰めであります。



**菅原達郎氏** (行年71才、奥州市水沢区) (株)アイディーエス会長は、2010年11月8日亡くなりました。

菅原氏は、国際ロータリーに所属しガバナー団員として度々来伯。2008年県人会50周年に参加、日本移民100周年記念式典にも参加されました。ブラジル県人会員一同故人のご冥福を祈ります。

合 掌

**佐川先生が急逝** (行年83歳、福島県人子弟、医師)

Dr ガブリエル佐川さんが、1月21日急逝されました。

氏には県人会で健康相談の講習を2-3回して頂き、同氏の別荘でピクニックをした事もありました。リオ国立大学医学部卒2世の医師第一号で、日本語の通じる先生として親しまれていました。

Drのご冥福を祈ります。

**来館者数** 2010年12月 412名  
2011年1月 448名

(2010年1年間の来館者は6,095名、ホール利用者は含まず)

# 訪 日 雑 感

2011年1月15日 阿部 正司



早池峰ダムにて、私達夫婦

内と共に大迫へ行こう。前々からの望みであった。昨年(2010年)息子から日本での研修がもう一年延期との知らせがくる。10月頃に初孫の誕生があるとか。今年65歳。仕事も一区切りつく、膝の弱い家内も今なら行きそうだ。

こんなことから訪日の計画を立て始める。8月頃、実家の兄より「母(95歳)が老人ホームへ入所する」との知らせがあり「母が生てる今だ、日本行きは」子供等の賛成を得る。

今回は家内の育った町を訪ねてみたい。家内は佐賀県の出身である。1956年パラグアイ移住者として家族と共に渡来。9歳の時である。一度佐賀に行ったが育った町には行けなかったそうである。今度はどうしても行きたいと言う。私も一度見たいと思っていた。

佐賀県杵島郡大町杵島炭鉱のあった町である。1995年頃、日本最大の小学校があった所である。1学級が12クラスから15クラスあり全校児童数3,000名以上が通っていた小学校がある。家内も其の一人であったとか。佐賀県伊万里市に



息子アイレス家族と

友達に住んでいる。彼とは2006年サンパウロで再会、連絡を取りながら話を進める。10月31日より九州を回り、11月2日大町町に到着、家内の遊んだ所は大変な変わりようである。

昔の長屋は今も住宅であるがどこか違う。お寺もこんな近かったのか大通りもこんな所にあったのか、町並みがまったく変わっている。生まれ育った家はなく、そこは車庫になっていた。9歳児の思い出の町と今の町並みがあまりにも違いすぎる。こんなにも変わるものであろうか。昔遊んだ友達もいない、知り合いも消えている。淋しい限りであったろう。

近くの雑貨屋の主人が子供の頃の家内を覚えていてくれた。彼女の案内で町内を訪ねて回る。あの日本最大の小学校は、今1学級2クラスの学校になっていた。昔のままあるのは、八幡様の境内と一段堤、二段堤のみであった。あの活気に満ちた町、ここに住んでいた人々はどこへ消えてしまったのだろう。50年の歳月がこの町に何が起き、何が生じたのだろう。未だに信じられない家内は「哑然」としていた。

新花巻、長兄次兄の出迎えを受ける。岩手はさすがに寒い、紅葉が素晴らしい。11月9日のことである。この日、大石満雄



大石花巻市長と

紅葉、回りがすべて真赤な紅葉、空は青空、さすがに空気は冷たい。モミジやカエデの落葉を拾っている家内がいる。兄は観化堂に登って行く「霊峰早池

峰山」が北方にゆったり横たわっている。「ここが大迫」家

ける話になった。夜は花巻温泉に宿泊する。翌朝、温泉街は大荒れであった。強い寒波に合う。実家に向かう途中、権化堂のある向い山に登る。ここが大迫である。この眺めは素晴らしい。実家は12年振である。昔の風景が一変していた。あの棚田が姿を消し、一町歩の田畑が5枚の田圃になっていた。二反歩の一枚田である。写真でみているが、



息子アイレスが岩手留学でお世話になった開成パシヨンの清水夫妻(上段両端)上中央阿部さんの次兄、下段右端長兄

こうして歩いてみると技術的に素晴らしい。家の中は水洗トイレに変わり、風呂も都会風のものになっている。

12年前、耕地整理の話聞いた事を思い出す。村全体を土地改良と共に下水処理も行う計画があったとか。この部落は20数件あるがあと数年もすれば廃家になる家が相当あるくらいな過疎地である。現在何軒かが廃家になっている。この土地にこ

ういうものが本当に必要なものであったのだろうか。ここは5000年前から人間が住んでいた土地である。日本は南から北から、どこまでも同じレベルに整備されている素晴らしい国である。道路、耕地、家の中まで。日本と云う所はなんという国であろう。特に農業を営んでいる人達には九州で感じた事を、この大迫でも感じている。兄達や甥や姪が集まり歓迎してくれた。ブラジルの話が面白いと皆が笑ってくれた。そこでも家内は人気者である。

しかし彼らの話には明るさが感じられない。望みが見えない。農業に対する将来性に夢がもてるのであろうか。いくら耕地整理を行い、作業が便利になっても、それが農業で生活出来るだけの営みが出来るのであろうか。不安な気持ちになってくる。それに比べブラジルは治安もよくない、生活もそれほど安心出来るほどではないが、何と明るいことか。自分がブラジルに慣れたのかも知れない。日本よりこちらの方が住みやすい感じがする。

11月11日岩手県庁へ川村一弘氏(国際課)を訪ねる。彼とはブラジルで会っており、訪日時には訪ねる事を約束していた。県人会より預かりものをお届けする。この日、吉田恭子さんともお会いする。吉田さんは家内の話を聞いておられた。



県庁国際課にて、上段左から川村主査、県人会賛助会の吉田恭子副会長と懇談

パラグアイ移住者の声はなかなか届かないと言われている彼女は移住関係の仕事にも携わっておられた事があるとか。

ここでも家内は一人で話をしていた。皆は話が面白いと喜んでいる。日本の国の変化は大変なものである。この一ヶ月の間、一度も雨にあわず、良い旅行が出来ました。これも一偏に皆様のお陰です。誠にありがとうございます御座いました。改めて御礼申し上げます。各地で素晴らしい紅葉を目にしました。春の日本も良いが、秋の紅葉もまた素晴らしい。

## VISITA DO EXMO. SR. KIKAWADA

Natural da cidade de Rikuzen Takada, Iwate Ken e Parlamentar do Governo Japones, o Sr. Kikawada veio ao Brasil com a comitiva do

Exmo. Sr. Taro Aso, representando o governo japonês na posse da Presidente Dilma Roussef, que aconteceu no dia 1º de janeiro em Brasília. Após os seus compromissos na capital federal, o Sr. Kikawada veio a São Paulo, onde visitou o Monumento do Imigrante no Parque do Ibirapuera, museu da Imigração no Bunkyo e também foi recepcionado por cerca de 40 associados na sede do Iwate Kenjinkai do Brasil.

Bastante satisfeito e muito contente com a recepção dos associados, o Sr. Kikawada levou como recordação a faixa alusiva ao evento.



## ASSEMBLEIA GERAL ORDINARIA E EXTRA ORDINARIA

Foi realizada no dia 16 de Janeiro a 52ª Assembleia Geral Ordinaria cuja sessão iniciou-se em segunda chamada com 21 associados. Foi escolhido como Presidente da Mesa o Sr. Mauro Takanori Tada que deu sequencia a ordem do dia. Foram apresentados pela Diretoria Atual o relatório de atividades e a prestação de contas do exercício de 2010. As contas foram aprovadas pelo conselho fiscal, representado no ato pelo Sr. Masuo Oikawa. Dando sequencia, iniciou-se a eleição da nova diretoria para o bienio 2011-2012. Não havendo chapas inscritas ou candidatos interessados em assumir o cargo de Presidente da associação, ficou marcado Assembleia Extra Ordinaria para eleição da nova diretoria.

Em 20 de fevereiro, foi realizada a Assembleia Geral Extra Ordinaria, que iniciou-se em segunda chamada com 26 associados. Novamente não havendo candidatos, o Sr. Hiroaki Chida assumiu o cargo, dando inicio ao seu sétimo 7º mandato.



## CAMPANHA DESABRIGADOS DA ENCHENTE NO RJ



Mal o ano começou, e as tragédias devido ao excesso de chuvas, castigaram a população da região serrana do Rio de Janeiro. O Iwate Kenjinkai iniciou campanha para arrecadar ajuda aos desabrigados. A campanha durou de janeiro a fevereiro e conseguiu arrecadar R\$ 3.619,00 entre os associados e as pessoas que frequentam o Kennjinkai. A quantia arrecadada foi depositada na conta da Associação Nikkey do RJ que fez a doação a Nihonjinkai de Nova Friburgo,

Foto : Teresopolis em Rio de Janeiro

## ANUIDADES RECEBIDAS

**(Dezembro)** Yoshio Kikuchi, Cecilia Shinobu Yamaguchi, Choyo Nagano, Bonji Takahashi, Tiichiro Sugawara, Masami Kiritra, Teresa Shiguemi Okada, Lina Harumi Shimizu, Afonso Nobuyuki Sakita, Sadako Kuninari, Yae Kawano, Kenzo Nakamura, Midori Omori, Takayuki Yamada, Hiroki Abe,

**(Janeiro)** Naka Kano, Umekichi Kamegasawa, Yoko Nakamura, Takeshi Sato, Yoshihiro Yamamichi, Keiko Ozaki, Yoshihiro Sagae, Tsukasa Wada, Bunsai Chin, Hiroaki Chida, Masa Chida, Yoshiko Takahashi, Washington Akihito Konno, Toshiko Konno, Mitsuo Fujimura, Yoshiharu Kikuchi, Tatsuro Kikuchi, Maria Asami,

Mitsuko Nomura, Yoshi Tsukada, Mitsuru Takusari, Hideyoshi Oikawa, Tomoko Obata, Akiko Toraiwa, Julia Yuriko Ishikawa, Teruumi Chida, Eiichi Sugawara, Tooru Kikuchi, Fuji Takayama, Nami Sato, Nami Nomura, Kozo Nahara, Jorge Osamu Teshima, Ryoko Teshima, Masashi Abe, Ayres Takashi Abe, Naoyoshi Chiba, Kensuke Sasaki, Kenjin Sasaki, Kanichi Sasaki, Haruo Takeda, Juvenilson Seiti Kuninari, **(Fevereiro)** Ayunosuke Maekawa, Jose Luis Sussumu Sasaki, Haruno Ito, Chiaki Tochizawa, Keiko Kamimura, Miti Watanabe, Meiko Seki, Eiji Motokashi, Maria Hirano, Jose Carlos Hirano, Tomio Hirano, Sumiko Nozaki, Yusuke Iwasaki, Hiromi Iwasaki, Toshiro Hashimoto, Kofu Ishii

フウシル岩手県人会ニュース 172号 2011年2月発行

TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br

Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020

フウシル岩手県人会

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil



奥州市は平成 18 年 2 月、水沢市、江刺市、胆沢町、衣川村が合併。総面積は 999.35 k m 平方、人口 13 万人弱で盛岡市に次いで現在 2 位の規模である。

地域の中央には、北上川、その西側には胆沢川によって開かれた胆沢扇状地が広がり、奥州市最高峰の焼石岳 (1,548 m) を主峰とする焼石連峰は、ブナの原生林が多く、北上山地につながる田園地帯、東端部に種山高原、阿原山高原が連なり、地域全域が緑豊かな自然に囲まれている。

大和朝廷の侵略に対抗した蝦夷 (えみし) の英雄アテルイ・モレが名をはせた飛鳥・奈良時代。奥六郡の司・安部氏が敗れた前



ふるさと  
めぐり 29



九年合戦。清原氏が滅亡した後三年合戦の後は、奥羽の覇者として君臨した 藤原清衡が奥州藤原氏の時代を築いた。そして、幕末から明治・大正・昭和へ。激動の時代に生きた高野長英、後藤新平、斎藤實 (まこと) の三偉人の足跡は新し 市内を流れる北上川

い日本の黎明を支えた。同市は稲作を中心とした複合型農業地帯で、交通の利便性の良さを背景に、県内でも屈指の商業集積が進み、工業団地等が整備され伝統産業や基幹産業の事業展開が図られています。

観光名所も多く、史跡、古墳、神社、寺など、多々あり、えさしの「藤原の郷」は、時代劇ロケで頻繁に使われている。

澄んだ空気、清らかな水、美しい自然、先人たちが築いてきた伝統と文化を礎に、奥州市は岩手の副県都として大きく飛躍することを目指している。(仮名略)

※ 情報写真提供 奥州市政策企画課

